

名古屋市社会福祉協議会 職員採用試験問題（公開問題・小論文試験）

■令和4年度

パナソニック（旧松下電器産業）グループ創業者である松下幸之助は「社員一人ひとりが“社員という稼業”の経営者であれ。」との教えを唱えている。組織におけるリーダーシップのあり方を上記の教えに基づいて考えた場合、理想とされる組織や社員の様態について考察せよ。

併せて、あなたが一緒に活動したい・働きたいと考えるリーダー像に最も当てはまる実在の人物（過去及び現在、著名であるなしを問わない）を特定したうえで、そのように考える理由や当該人物のリーダーシップに関する具体的なエピソードを紹介するとともに、その人物からあなたが受けた影響や参考にしたいと思った点について述べよ。

■令和3年度

下記の表は幼児・児童が「大人になったらなりたいもの（職業）」を2000年と2020年に調査した結果である。2つの表を比較し、生じている変化とその理由や社会背景について考察するとともに、あなたが現在どのような仕事（業界、業種、業務など）を通して自己実現を果たしたいと考えるのか、その志望の形成に影響を与えた体験や人物、社会の変化など形成の過程を含めて具体的に述べなさい。

（調査結果表の掲載は省略しています）

■令和2年度

新型コロナウイルス感染症の影響により「新しい生活様式」が提唱されている。今後の社会においては、様々なコミュニケーションがこれまで以上に「オンライン」で行われることが見込まれている。しかし一方で、過度な「オンライン」化によって、人間同士の「対面」コミュニケーションが損なわれてしまうことへの懸念も示されている。

そこで、「オンライン」と「対面」によるコミュニケーションの「長所」と「短所」をそれぞれ述べるとともに、あなたが名古屋市社会福祉協議会の職員として活躍するためにどのようなコミュニケーションを心掛けたいか、「オンライン」と「対面」の特性を踏まえて、あなたの意見を具体的に述べなさい。